

第1回 柏市文化財保存活用地域計画作成協議会 会議録

◇開催日時

令和元年6月5日(水) 14時00分～15時30分

◇開催場所

沼南庁舎5階 501会議室

(名) = 発言者

◇議題

(1) 柏市文化財保存活用地域計画の概要について(事務局)

【質疑】

・(委員)「文化財保存活用地域計画等を活用した観光拠点づくり事業」について教えてもらいたい。

→(事務局)観光庁と文化庁の補助事業である。例えば、「文化財多言語解説整備事業」は解説を多言語化したり、VR(仮想現実)、AR(拡張現実)といった先端技術を活用する事業に補助がつく

(2) 協議会における調査委員の設置について(事務局)

(3) 今後のスケジュールについて(事務局)

(4) 質疑・意見

【質疑】

・(委員)地域計画の先行例はあるのか。

→(事務局)先行例はないが、地域計画の前身である「歴史文化基本構想」については、かなり多くの自治体で作成されている。

・(委員)歴史文化基本構想と地域計画の違いはあるのか。

→(事務局)ほとんど違いはないと思う。構想から計画に格上げされたと理解している。

・(委員)この協議会は公開なのか、非公開なのか。

→(事務局)財産に関わるような話も出てくると予想されるため、非公開。

・(委員)審議会と協議会の立ち位置、最終的にはどこが判断するのか。

→(事務局)審議会も協議会も意思決定機関ではない。あくまで、責任をもって作るのは事務局である教育委員会の文化課。

【意見】

(委員)ある程度中間報告のような形ができれば、ワークショップ等で一般市民の意見を取り入れるような形態をとったほうが良い。

(委員)地域のなかでどのような文化財があって、それをどう繋げることができるかについて考えないといけない。

(委員)今回の計画の目玉は未指定の文化財も含めて、全てを対象にすることができる点であろう。どの分野はどの時代までのこういったものを対象とするのかという

枠組みを考えておくとよい。

(委員) 文化の担い手である市民の意見を聞けるような仕組みやタイミングを考えたほうが良い。

(委員) 市内に来る外国人観光客が増加しているため、多言語対応したホームページなどで公開できると良い。

(委員) ワークショップの話が出たが、シンポジウムなども開催してその時点での考えなどをよく市民に知っていただく機会を作るのと同時に、意見聴取できると良い。

(委員) 旧吉田家住宅のような、写真撮影のスポットとして活用されたり、建物内で演奏会をしたりといった思い切った活用を他の場所でもできるといいと思う。

(委員) 地域計画で考えるテーマに対して、どういったものをピックアップすれば今の女性が動くのかといったことについて、お手伝いできると思う。

(委員) 作成過程で十分に審議，浸透させていく必要があると思う。

(委員) 市民参加は理解，社会的関心が重要。